

令和4年3月予算審査特別委員会

令和4年3月15日（火曜日）

◎ 出欠席委員氏名

佐藤修二 委員長 丹野貞子 副委員長

出席委員（12名）

1番 岡田桂司 委員	2番 齋藤隆 委員	3番 榎正義 委員
4番 佐藤修二 委員	5番 吉田芳美 委員	6番 東海林信弘 委員
7番 阿部恭平 委員	8番 松田收作 委員	9番 丹野貞子 委員
10番 木村章一 委員	11番 石垣光洋 委員	12番 細矢誓子 委員

欠席委員（0名）

◎ 職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

真木邦弘 事務局 長 齋藤淳 議事係 長
嶋田愛 総括主任

◎ 説明のため議場に出席した者の職氏名

森谷俊雄 町 長	河内耕治 副 町 長
真木吉雄 監 査 委 員	後藤浩 防災・危機管理監兼 総務課 長
真木秀章 総務課主幹	牧野隆博 政策推進監兼 企画財政課 長
宇野勝 まちづくり推進課長	矢作勲 税務町民課 長
堀米清也 健康福祉課 長	増川仁 農林振興課長併 農業委員会事務局 長
佐藤晃一 商工観光課 長	須藤俊一 都市整備課 長
今部憲治 上下水道課 長	岸康彦 会計管理者兼 会計課 長
鈴木淳子 学校教育課 長	石山勝己 教育主幹 兼指導主事
秋場弘昭 生涯学習課 長	庄司祐一 総務課長補佐 兼総務係 長
日塔俊浩 企画財政課長補佐	

◎ 委員会日程

令和4年3月15日（火） 午前9時開議

委員会日程第4号

日程第1 付託案件の審査、採決

- 議第12号 令和4年度河北町国民健康保険特別会計予算について
- 議第13号 令和4年度河北町西里財産区特別会計予算について
- 議第14号 令和4年度河北町農業集落排水事業特別会計予算について
- 議第15号 令和4年度河北町公共下水道事業特別会計予算について
- 議第16号 令和4年度河北町介護保険特別会計予算について
- 議第17号 令和4年度河北町後期高齢者医療特別会計予算について
- 議第18号 令和4年度河北町水道事業会計予算について

閉 会

◎ 本日の会議に付した事件

委員会日程第4号のとおり

◎ 開 議

午前9時

○佐藤委員長 おはようございます。

本日の欠席通告委員はありません。

ただいまの出席委員数は12名であります。

定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日の委員会日程はお手元に配付のとおりであります。

○佐藤委員長 日程第1、付託案件の審査、採決を行います。

○佐藤委員長 議第12号令和4年度河北町国民健康保険特別会計予算についてを議題とします。

歳入歳出全款についての質疑の通告を求めます。

(10番の通告あり)

10番。落ちございませんか。

(「なし」の声あり)

「10番木村章一委員」

○木村委員 国保会計について質疑いたします。

168ページ、歳入でありますけれども、基金繰入金、令和3年度から令和4年度についての繰入金額を比較しますと、500万円繰入予定額が減っているという予算であります。

そこで質疑いたしますけれども、お聞きしますが、令和2年度末の基金残高は幾らであったか、そして令和3年度末の基金残高予想額は幾らとなっているか。毎年、基金を2,000万円程度減っていくと、そういう中で国保税額を上げないでいこうというような考え方がありそうですけれども、その辺の動向についてお聞きします。

この1点、お聞きします。

○佐藤委員長 「矢作税務町民課長」

○矢作税務町民課長 おはようございます。

木村委員のほうから基金の繰入金のことについてのお尋ねであります。

まず、令和2年度の基金の残高のほうから申し上げます。令和2年度末で4億4,758万3,000円ほどになります。

今年度、令和3年度末の見込みといたしましては、先日の調査の時に資料をお示した時からちょっとさらに金額が動いておりますので、若干ですが金額動いておりますので、現在の数字を申し上げます。4億4,845万3,000円というふうなことになります。今のところの見込みでございます。

基本的な考え方というふうなものは、国保の保険料のほうは、県のほうから提示されている標準の保険税額はもっと上げなければならないというふうになっておるのですが、そこを上げないで基金のほうを活用しながら上げて皆様のほうのなるべく保険料のほうを負担しないような形で行くというのがスタンスでございます。

そのためにも基金のほうを十分に活用しながらというふうなことになりますが、年度の中で歳出の思うように支出が伸びなかったり、別な収入が入ってきたり何かする事情もありますので、それは若干変わることがある場合もございます。

基本的な考え方というのは変わらず、そこは基金を活用しながら保険税額を上げないというスタンスは変わらないというふうに認識しております。

以上でございます。

○佐藤委員長 「10番木村委員」

○木村委員 国保の国民健康保険税収入として見ている額が3億1,900万円ほどでありますけれども、それに比べて基金残高が4億4,800万円ほどになると、年度末で。1年間、全然国保税を集めなくても十分やっていけるほどの基金があるという認識は必要だと思っております。そういうふうにしるという議論ではないんですけれども。

一方で、町民の中には、国保税って収入を得て、所得を得て、それから払うにしては高過ぎるという声、ずっとあって、少しずつ下

がってはきている傾向あるんですけれども、それでもまだまだ高い。協会けんぽなどと比べると、やはり2倍近い、所得割のほかに均等割、世帯平等割などがあって、負担という部分が非常に重い役割を果たしている。

今回は、令和4年度から未就学児の平等割ですか、こちらのほうが半額になるというようにあるようなんですけれども、それでもこういう動向変わらないんじゃないかという中で、基金の活用を上げないためというだけじゃなくて、一度少しその分をもっと投入して、今回は減っていませんから、2,000万円ずつ減るかなという見通しはその分減っていませんから、この基金はここで下げるというふうな方向で活用すべき、そういった検討をすべき何ではないかと思うんですが、いかがでしょうか。

○佐藤委員長 「矢作税務町民課長」

○矢作税務町民課長 委員のほうがおっしゃいます協会けんぽあたりとの比較のことについてなんですが、まず協会けんぽのほうは、まず保険の制度として違うものというふうに捉えております。協会けんぽでいろんな加入条件というふうなものがありまして、それに満たす方というのは協会けんぽのほうに入りますが、それに入れない方というふうなものを国保のほうで救うというふうな、まず位置づけになっておるところでございます。

そこでまず協会けんぽとの比較というふうなものはちょっと適当ではないというふうに考えておるのですが、高いか安いというふうにかなりこれまでも何度か議論をされているようなことがございますが、やっぱり国保の高いか安いというふうなものは、やっぱり県内の中での立ち位置といいますか、そういったもので比較するのがやっぱり適当なのではないかなというふうに思います。

その場合ですけれども、河北町の場合、下

から9番目、10番目、そのあたりに位置づけられております。山形県全体の加入団体の数を考えると、決して高いというふうな部類にはありません。

また、毎年、次の年の保険税額を算定する際に県のほうから示されます標準税額というふうなものは、総体で見ますと、河北町の場合は、上げなければならない方向に来ておりますが、そこをあえて上げずにずっときております。

というふうなことから、不足があればその基金から補填してというふうなことで、たまたま今回歳出のほうがコロナ禍の影響もあるんですが、なかなか思うように、歳出のほうが行かなかつたというふうなことが大きな要因になるんですが、基金のほうが減らずに済んだというふうなことになりますので、今後とも有効に基金のほうを活用しながら、できるだけ保険税額を上げないというふうな方向で進めていきたいというふうなところでございます。

○佐藤委員長 「10番木村委員」

○木村委員 今、先ほど数字、年度末基金残高を令和2年度、3年度予想というので数字示していただきましたが、差引きで、ちょっと今すぐに計算できないんです。幾らになりますか。毎年2,000万円ぐらいの減額、基金を減らしていくと、減っていくだろうという予測が令和3年度については前年に対比どうなったか、ちょっと数字を教えてください。

○佐藤委員長 「矢作税務町民課長」

○矢作税務町民課長 令和3年度末見込みのほうで87万円ほど多かったというふうな結果になります。

○佐藤委員長 「10番木村委員」

○木村委員 担当課長の口ぶりが予測どおり2,000万円減らなかったと、残念みたいな言い方を時々するので、歳出が思うように伸び

なかったと。いいことなんでしょうが、そういう言い方はちょっとおかしいんじゃないかと。

支払うべき医療費とか何かは、当然出すべきなんです。そこはもう当然出すべきですけども、でもそれでも伸びなかったのはいいことだろうと私は思うんですけども、違う言いっぷりなので、ちょっとそこが気になるんですが、予測とずれたから。

○佐藤委員長 10番木村委員に申し上げますが、決算ではなく予算ですので、予算から離れないように質疑してください。

○木村委員 委員長申し上げますが、新年度の税率についての議論はしてよろしいでしょうか。（「はい、よろしいです」の声あり）

それに絡むので、前年の残高が新年度の基金の在り方が新年度の税率を決めていくのに影響あるということでの議論させていただいております。

その辺の考え方、担当者としてその辺の考え方は、とにかく予測に合うように基金が減っていくというのが望ましいということなんでしょうか。

○佐藤委員長 「矢作税務町民課長」

○矢作税務町民課長 結果的に税率を上げずにこの事業を1年間やれるというふうなことがまず私ども、これまでも議会のほうにも説明してまいりましたし、そのためには基金のほうを投入して、有効に活用してというふうな説明もそれと同時に行っております。

というふうなことでは、結果的に基金が減らなかったというふうなことでありまして、特に残念なことというふうなことではないんですが、こちらで説明している内容とは変わった結果になったというふうなことでございます。

○佐藤委員長 「10番木村委員」

○木村委員 令和3年度はそういう予測で進めた

と。令和4年度もやはり基金は2,000万円程度減るといふ予測なんですか。そんな予算になっておりますか。

○佐藤委員長 「矢作税務町民課長」

○矢作税務町民課長 現在試算しておりますが、当初段階での試算なんですけど、やっぱり3,000万円前後取り崩す必要があるかなというふうには考えております。ただまた年度内の出納の状況によってそこは動きますので、今のところは3,000万円前後というふうなことを取り崩す予定にしております。

○佐藤委員長 「10番木村委員」

○木村委員 予算書では基金繰入金で3,800万円というふうになってはいますが、この数字は、この後で繰戻して来たりするもの、ここにはまだ数字出ないけれども、そういったことがあって3,000万円近くは基金が減るかもしれない、減るだろうという見通しだということなんですけど、前年もそういう予測を立てたのにそうならなかったと。2年ぐらい続いて基金が減らない。

例えばそんなふうになったとしたら、税率の立て方が高過ぎるんじゃないか、もっと下げられるというような検討していくこともあり得ますか、お聞きしておきます。

○佐藤委員長 「矢作税務町民課長」

○矢作税務町民課長 そこは検討しなければならぬというふうには考えております。

○佐藤委員長 「10番木村委員」

○木村委員 以上、質疑を終わります。

○佐藤委員長 以上で、10番木村章一委員の質疑を終わります。

以上で質疑を終結します。

討論に入ります。討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

討論なしと認めます。

採決します。

本案を原案のとおり決するに賛成の委員の

起立を求めます。

(起立全員)

賛成全員です。

よって、議第12号令和4年度河北町国民健康保険特別会計予算については原案のとおり決定しました。

○佐藤委員長 次に、議第13号令和4年度河北町西里財産区特別会計予算についてを議題とします。

歳入歳出全款についての質疑の通告を求めます。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。

討論に入ります。討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

討論なしと認めます。

採決します。

本案を原案のとおり決するに賛成の委員の起立を求めます。

(起立全員)

賛成全員であります。

よって、議第13号令和4年度河北町西里財産区特別会計予算については原案のとおり決定しました。

○佐藤委員長 次に、議第14号令和4年度河北町農業集落排水事業特別会計予算についてを議題とします。

歳入歳出全款についての質疑の通告を求めます。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。

討論に入ります。討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

討論なしと認めます。

採決します。

本案を原案のとおり決するに賛成の委員の起立を求めます。

(起立全員)

賛成全員であります。

よって、議第14号令和4年度河北町農業集落排水事業特別会計予算については原案のとおり決定しました。

○佐藤委員長 次に、議第15号令和4年度河北町公共下水道事業特別会計予算についてを議題とします。

歳入歳出全款についての質疑の通告を求めます。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

討論に入ります。討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

採決します。

本案を原案のとおり決するに賛成の委員の起立を求めます。

（起立全員）

賛成全員であります。

よって、議第15号令和4年度河北町公共下水道事業特別会計予算については原案のとおり決定しました。

○佐藤委員長 次に、議第16号令和4年度河北町介護保険特別会計予算についてを議題とします。

歳入歳出全款についての質疑の通告を求めます。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

討論に入ります。討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

採決します。

本案を原案のとおり決するに賛成の委員の起立を求めます。

（起立全員）

賛成全員であります。

よって、議第16号令和4年度河北町介護保

険特別会計予算については原案のとおり決定しました。

○佐藤委員長 次に、議第17号令和4年度河北町後期高齢者医療特別会計予算についてを議題とします。

歳入歳出全款についての質疑の通告を求めます。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

討論に入ります。討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

採決します。

本案を原案のとおり決するに賛成の委員の起立を求めます。

（起立多数）

賛成多数であります。

よって、議第17号令和4年度河北町後期高齢者医療特別会計予算については原案のとおり決定しました。

○佐藤委員長 次に、議第18号令和4年度河北町水道事業会計予算についてを議題とします。

収益的収支及び資本的収支の全款についての質疑の通告を求めます。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

討論に入ります。討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

採決します。

本案を原案のとおり決するに賛成の委員の起立を求めます。

（起立全員）

賛成全員であります。

よって、議第18号令和4年度河北町水道事業会計予算については原案のとおり決定しました。

以上で本予算審査特別委員会に付託されま

した8議案について審査は全て終了しました。
お諮りします。

本予算審査特別委員会は議長を除く全議員
で構成されていますので、本会議には審査過
程についての報告を省略し、結果のみを報告
したいと思います。

これに異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

よって、本会議には結果のみを報告するこ
ととします。

○佐藤委員長 これにて予算審査特別委員会を閉
会することになりますが、閉会に当たり一言
御礼を申し上げます。

去る3月10日から本日まで、各委員の皆様
には終始慎重な審査をいただき、誠にありが
とうございました。

委員長として不慣れな点も数多くあり、ご
迷惑をおかけしましたことも多々あったかと
思われますが、委員各位の温かいご理解とご
協力により審査を無事終えることができました。
心から感謝を申し上げます。

また、当局におかれましても、終始懇切な
説明に当たられましたことに厚く御礼を申し
上げます。

活発な審査の過程において各委員から数多
くの提言がなされましたが、これらの件につ
いては多くの町民の声であると認識し、今後
の町政に十分生かされるよう強く願うもので
あります。

以上をもちまして、予算審査特別委員会を
閉会します。

ご協力、誠にありがとうございました。

午前9時24分 閉会

を証するためここに署名します。

令和4年3月

臨時委員長 松田 收作

予算審査特別委員長 佐藤 修二

会議録署名委員 石垣 光洋

会議録署名委員 岡田 桂司

~~~~~  
会議の経過を記載し、その相違のないこと

